

校訓 「英知」(かしこく) 「篤実」(美しく) 「剛健」(たくましく)

学校教育目標 自らの可能性を信じ、主体的に学び、共に「感動」「考動」する生徒の育成

確かな学力(資質・能力)の育成

鶴城中学校の生徒に育てたい資質・能力

- ①理由や根拠を明確にして、表現・行動する力
- ②課題の解決に向けて、見通しを持って、主体的に粘り強く取り組む力
- ③まわりの様子から、気づき・感じ、瞬時に動く力
- ④互いのよさを生かし、仲間や地域に貢献する力

何ができるようになるか  
(中学校教育の基本)

- 教育課程全体を通して育成する資質・能力
  - ・相互に関連付けられた、生きて働く「知識・技能」の習得
  - ・未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
  - ・学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

何が身に付いたか  
(学習評価を通じた学習指導の改善)

- 目標に準拠した評価の実現
  - ・個別的・事実的な知識だけでなく、それらに関連付け合いに深く理解しているかの見取り・論述や発表、話し合いなど、生徒が学んだことを活用して思考・判断・表現
  - ・行動する場面による多面的な評価による見取り
  - ・生徒が自ら学習の目標を持ち、見通しと振り返りの機会を通して、学習に対する自己調整を行おうとしているかの見取り
- 全国学力・学習状況調査、県学力・学習状況調査等の結果分析を踏まえた、検証改善サイクルによる指導方法の工夫改善

生徒の発達をどのように支援するか  
(配慮を要する生徒への支援指導)

- 生徒の発達を支える支援・指導の充実
  - ・管理職、主任等の連絡会や月末の朝会での生徒理解や具体策の情報共有
- 特別な配慮を要する生徒
  - ・特別支援教育コーディネーターを中心とした、関係職員、SC等専門家、関係機関等と連携した組織的取組

何を学ぶか  
(教育課程の編成)

- 各法令、熊本の学び推進プラン、第3次宇土市教育振興基本計画等に従い、生徒の心身の発達や特性、地域の実態を考慮した特色ある教育課程の編成
- 教科横断的視点に立った教育課程の編成
  - ・学習の基盤となるもの  
言語能力・情報活用能力、問題発見・解決能力に関するもの
  - ・現代的な諸課題に対応するもの  
防災を含む安全、人権、健康、地域・伝統・文化、環境等

どのように学ぶか  
(教育課程の実施)

- 「主体的・対話的で深い学び」に視点に立った授業改善
  - ・小中連携教育・一貫教育のもと、「授業づくりの5つの心得」に基づく指導方法の工夫
  - ・キャリア教育で基盤とされる力を関連づけた指導の推進
  - ・ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業の推進
  - ・学習指導におけるICTの効果的な活用
- 授業の振り返りを生かした主体的計画的な家庭学習
  - ・学年で共通した取組と確実な見取り



実施するために何が必要か  
(学校の指導体制の充実 家庭・地域との連携・協働)

- 同僚性を高め、組織で対応する危機管理体制の整備
- 働き方推進プランに沿った勤務時間適正化の推進(宇土市「運動部活動の指針」に沿った部活動)
- 保護者、SC等専門家及び関係機関との連携・協働
- 少人数指導、TT指導によるきめ細やかな指導ができる指導体制
- 特別支援教育コーディネーターのリーダーシップによる宇土市学習支援員の計画的な活用
- 総合的な学習の時間等の授業、体育大会等学校行事における地域人材や施設の活用
- 部活動における人間性と専門性を兼ね備えた外部指導者の確保
- 「地域学校保健委員会」、宇土市青少年センター、宇土市保健センター等との連携・協働
- 宇土小学校、花園小学校、走湯小学校及び宇土東小学校との小中連携教育・一貫教育の充実